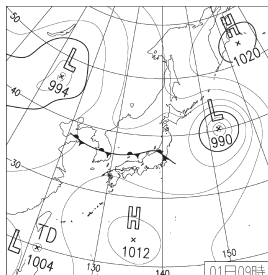


# 日々の天気図

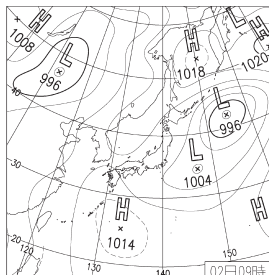
— No. 139

## 2013年 8月

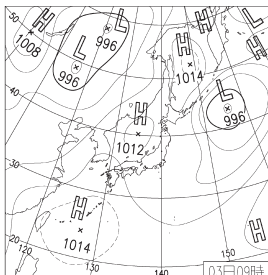
・9日には秋田県と岩手県、24日は島根県で記録的な大雨、浸水害・土砂災害など発生。  
 ・中旬を中心に西～東日本で激しい暑さが続き、日最高気温の高い方からの観測史上1位を更新した地点多数、12日には高知県四十市江川崎で歴代全国1位の41.0℃。  
 (気象庁予報部予報課)



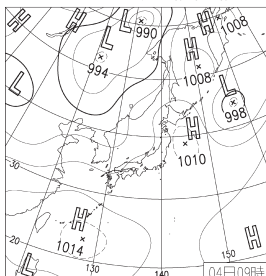
**1日(木) 山陰・北陸で大雨**  
 黄海～東北南部の前線がゆっくり南下、山陰・北陸で大雨、鳥取空港の67mm/1h、日降水量170mmは史上1位更新、九州・四国を中心に気温上昇、宮崎空港の38.6℃も史上1位に。



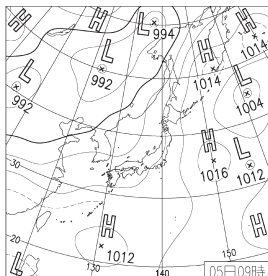
**2日(金) 東海以西で高温続く**  
 沖縄～西日本、東海では高気圧に覆われ晴れたが、中国・四国では明け方に非常に激しい雨、徳島県美馬市穴吹で70mm/1h、宮崎県日南市油津では38.1℃、観測史上1位を更新。



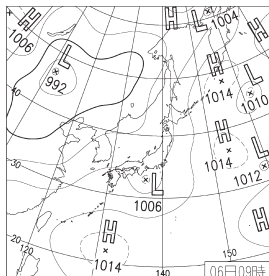
**3日(土) 北陸、北日本は低温傾向**  
 北陸・北日本は北から高気圧に覆われ低温、北海道中標津空港で最低気温4.7℃、沖縄・奄美や西日本は南の高気圧に覆われ高温、鹿児島県伊仙で最高気温34.4℃、史上1位更新。



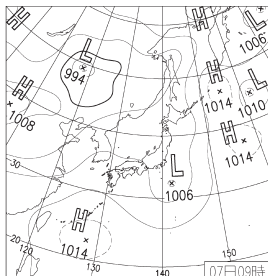
**4日(日) 宮城県石巻で震度5強**  
 暖かく湿った空気が流入し、九州は激しい雷雨、熊本県玉名市岱明で91.5mm/1h、観測史上1位を更新。中国・四国・近畿各地でも午後を中心に雷雨。宮城県沖でM6.0の地震。



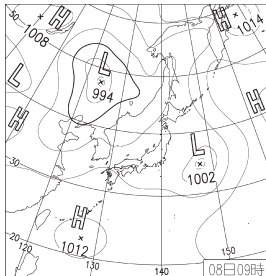
**5日(月) 津山で1時間87mmの雨**  
 暖かく湿った空気の流入により大気不安定な状態が続き、西日本を中心に広範囲で局地的な雨や雷。岡山県津山で8月の1位更新となる87mm/1hの猛烈な雨。



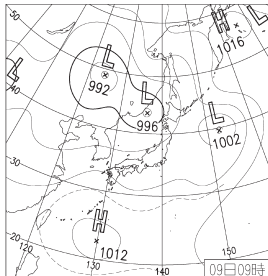
**6日(火) 近畿～北日本で雨**  
 本州南岸の低気圧の影響で近畿から北日本は雨となり、岐阜県下呂市宮地で71.5mm/1h、秋田県鹿角で64.5mm/1h、鹿児島県天城で最低気温29.2℃、史上最高記録を更新。



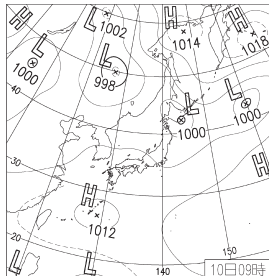
**7日(水) 北陸、東北部梅雨明け**  
 全国的に高気圧に覆われ晴れて気温上昇。沖縄～東日本の108地点で猛暑日。沖縄県南城市糸数で最高気温36.1℃となり観測史上1位を更新。北陸・東北部で梅雨明け。



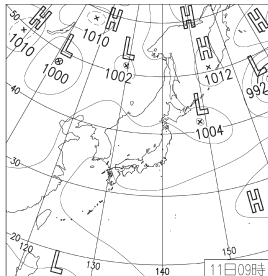
**8日(木) 関東以西で猛暑続く**  
 太平洋高気圧に覆われ東北以南は晴れたが近畿を中心に雷雨。北海道は気圧の谷の影響で北見地方・十勝地方を中心に大雨。北海道足寄町南1条で観測史上1位更新の64.5mm/1h。



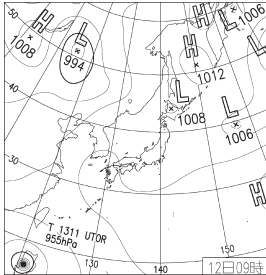
**9日(金) 秋田、岩手で記録的大雨**  
 北日本は大気の状態が非常に不安定となり、猛烈な雨。秋田県鹿角で108.5mm/1h、日降水量293mm、共に観測史上1位を大幅に更新。岩手県雫石の日降水量264mmも記録更新。



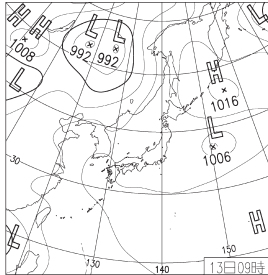
**10日(土) 東北部梅雨明け**  
 西日本～東北は高気圧に覆われ晴れて朝から気温上昇、猛暑日295地点(全国32%)。高知県四十市江川崎と甲府で最高気温40.7℃。甲府は史上1位を更新。台風第11号発生。



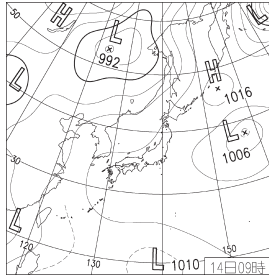
**11日(日) 高温の記録更新多数**  
 各地で気温の高い状態が続く。猛暑日297地点は今季最多、47地点で日最高気温の観測史上1位を更新。東京都千代田区の最低気温30.4℃も観測史上1位を更新、全国歴代2位に。



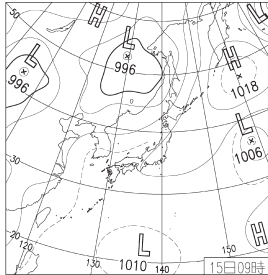
**12日(月) 高知県で最高気温41℃**  
 各地で猛暑継続。高知県四十市江川崎で最高気温41.0℃、国内の観測史上1位の記録を更新。関東で大気の状態が不安定となり、激しい雨。東京都練馬区石神井台で49mm/1h。



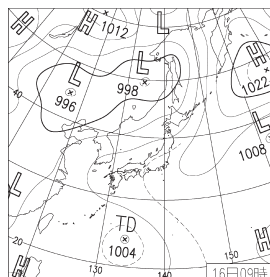
**13日(火) 江川崎4日連続40℃以上**  
 北海道で気圧の谷の影響により曇りや雨となった他は日中全国的に晴れ、西日本では山沿いの一部で雷雨。174地点で猛暑日、江川崎では最高気温40℃となり4日連続で40℃以上に。



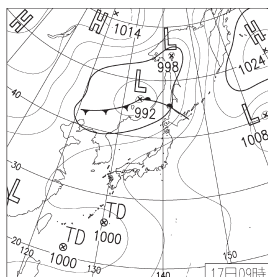
**14日(水) 沖縄で非常に激しい雨**  
 北海道は気圧の谷の影響で、沖縄は暖かく湿った気流の影響で雨や曇り。その他は太平洋高気圧に覆われ概ね晴れ。那覇市樋川で68.5mm/1hの雨。山形市でススキ開花。



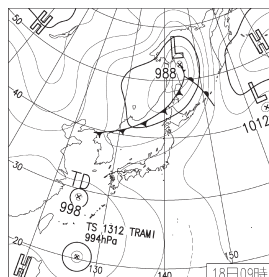
**15日(木) 8割の地点で真夏日**  
 高気圧に覆われた西～東日本は猛暑が続く、午後は山沿いを中心に局地的な雨。沖縄は暖湿気の流入により断続的な雨。長野県諏訪で観測史上1位を更新する74.5mm/1hの雨。



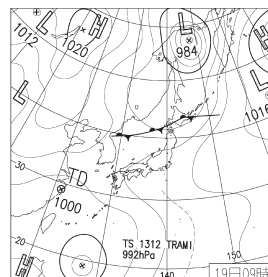
**16日(金)真夏日地点が今季最多**  
西～東日本は大平洋高気圧に覆われ晴れて気温上昇。真夏日75地点は今季最多、猛暑日126地点。沖縄周辺では広範囲で海面水温が30℃以上と高くなっている旨、報道発表。



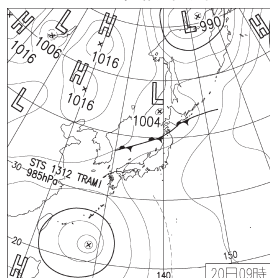
**17日(土)熱帯低気圧2個**  
九州～東北では、高気圧に覆われ晴れ、猛暑日123地点。北海道は低気圧の影響で、沖縄・奄美は熱帯低気圧の影響で曇りや雨。鹿児島県瀬戸内町古仁屋で57.5 mm/1h、8月の1位更新。



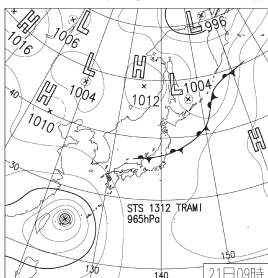
**18日(日)北海道で大雨**  
前線の影響で北日本は大雨、北海道厚沢部町第で89 mm/1h。西～東日本は高気圧に覆われ晴れて暑く、長崎市南山手町では観測史上1位の37.7℃。沖縄の南で台風第12号発生。



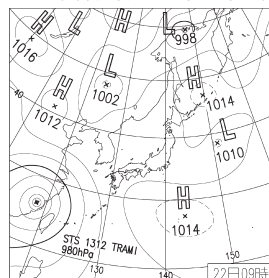
**19日(月)九州中心に猛暑**  
東北部と北海道の所々で強雨、青森県釜ヶ沢は52 mm/1hで観測史上1位更新。西日本～東北部の各地で猛暑日、長崎県・熊本県などで最高気温が観測史上1位の地点多数。



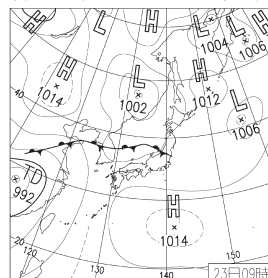
**20日(火)九州の猛暑持続**  
最高気温は九州北部を中心に18地点で史上1位を更新。熊本県天草市牛深で39.6℃。北陸～北日本で前線が停滞し非常に激しい雨。新潟県村上市三面で64 mm/1h、史上1位更新。



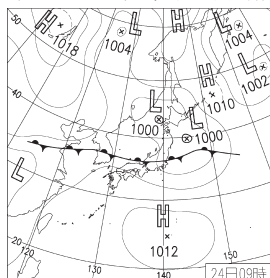
**21日(水)台風、先島諸島を西進**  
台風第12号が先島諸島近海を西進。沖縄県渡嘉敷村渡嘉敷島で最大瞬間風速30 m/s。暖気が入り徳島県三好市京上で64.5 mm/1h、高知県梼原で58.5 mm/1hの非常に激しい雨。



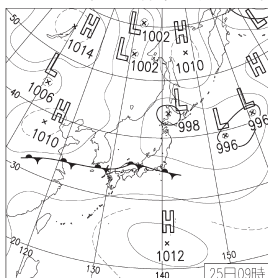
**22日(木)西日本・東海で猛暑日**  
小笠原付近の高気圧に覆われて、晴れて気温が上昇。西日本・東海を中心に猛暑日161地点。午後は大気の状態が不安定となり、西日本で非常に激しい雨。福岡県飯塚で69 mm/1h。



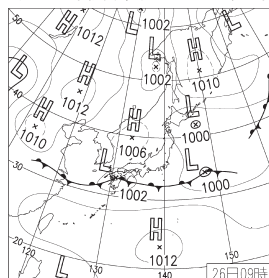
**23日(金)北陸で大雨**  
前線南下に伴い北陸中心に大雨。石川県かほくで日降水量219.5 mm、史上1位更新。西日本太平洋側中心に猛暑、鹿児島市東郡元町で最高気温37.1℃、史上1位を71年ぶりに更新。



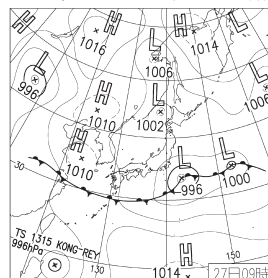
**24日(土)島根県で記録的な大雨**  
停滞前線に流れ込む暖かく湿った空気により、西日本を中心に猛烈な雨、災害相次ぐ。島根県津江市桜江では92.5 mm/1h、日降水量386 mmで、共に観測史上1位を大幅に更新。



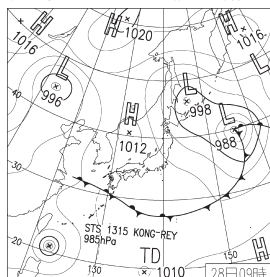
**25日(日)西日本の大雨続く**  
西～東日本は前線、北日本は低気圧による雨や雷、西日本は各地で激しい雨が続く。島根県石見空港で観測史上1位を更新する87 mm/1hの猛烈な雨。熊本県阿蘇乙姫で254 mm/日。



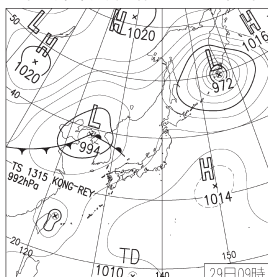
**26日(月)猛暑日途絶える**  
前線が日本の南海上に停滞し、九州～四国・近畿で雨。熊本県熊本空港で60.5 mm/1h。日照はあっても高温にならず、7月5日以来52日間続いていた国内の猛暑日が途絶えた。



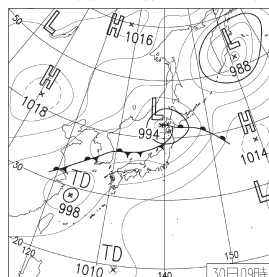
**27日(火)北海道で猛烈な雨**  
関東南岸の低気圧の影響で、朝にかけて東日本～東北で雨。日中は高気圧に覆われ全国的に晴れ。北海道は日本海北部の低気圧の影響で夕方以降雨。北海道苫小牧で90 mm/1h。



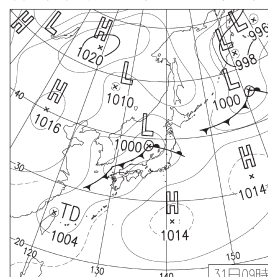
**28日(水)西～東日本は晴れ**  
西～東日本を中心に晴れたが、北陸や東北は気圧の谷の影響で朝まで雨。北海道は低気圧の影響で雨や雷雨の所も。沖縄・奄美は台風周辺の湿った空気により時々雨。



**29日(木)台風、先島諸島付近通過**  
東北部では曇り、先島諸島では雨や曇り、その他は概ね晴れ。台風第15号は朝、与那国島の西海上を北上し東シナ海へ。沖縄県と那国町租納で最大瞬間風速33.3 m/s。



**30日(金)特別警報の運用開始**  
西～東日本や北海道で雨や雷、石川県輪島73.5 mm/1h、福岡72.5 mm/1hなど、北陸や九州北部で非常に激しい雨。長崎県松浦で324 mm/日、和歌山県と福島県で最大震度4の地震。

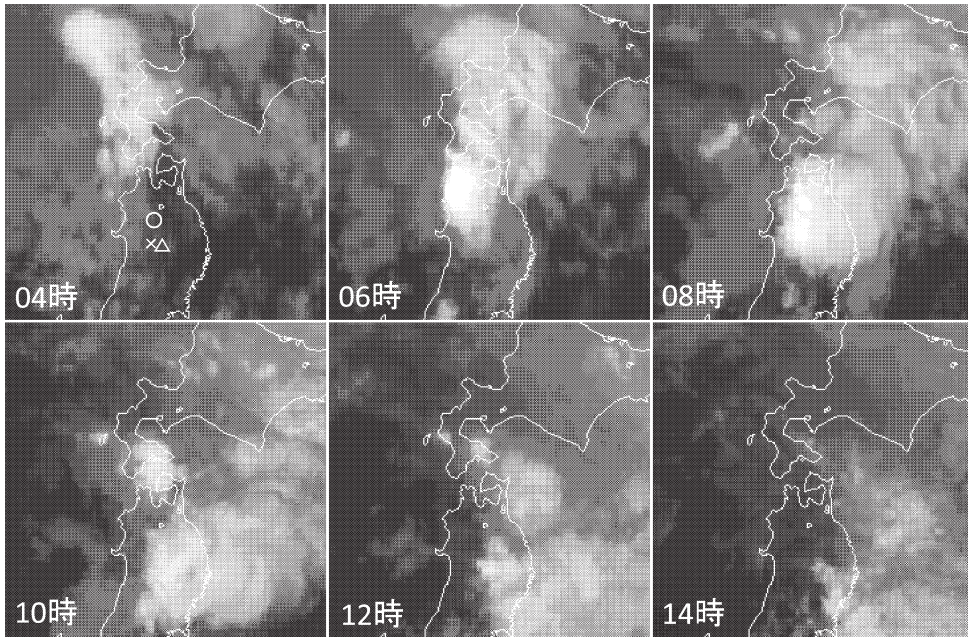


**31日(土)広い範囲で大雨**  
日本海を進んだ低気圧と本州を南下した前線により、九州～東北を中心に広い範囲で大雨。鹿児島県薩摩川内市八重山で77 mm/1hの非常に激しい雨、観測史上1位を更新。



## 今月のひまわり画像—2013年8月

### 秋田・岩手県に災害をもたらした記録的な大雨

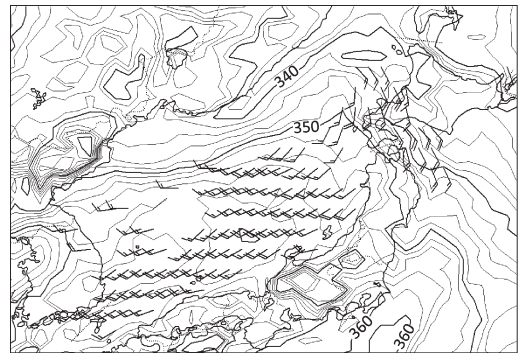


第1図 2013年8月9日04～14時（日本時間）の北日本付近の赤外画像（記号については本文参照）。

2013年8月9日、秋田県と岩手県を中心に記録的な大雨となり、両県では河川の増水や土砂災害が発生し、計7名の死者・行方不明者が出た。気象庁は同地域に対して特別警報（同月30日運用開始）相当の大雨になるおそれがあるとして、同日朝から最大級の警戒を呼びかけていた。

第1図は9日04時～14時の2時間毎の北日本付近の赤外画像で、秋田・岩手県付近では発達した積乱雲（雲頂高度は最高で約14 km）が次々に発生していた。この期間の最大1時間降水量は秋田県鹿角（同図中の記号○付近）で108.5 mm、同県仙北市鎧畑で88.0 mm（同×付近）、岩手県雫石で78.0 mm（同△付近）となった。特に秋田県鹿角では、同日05～13時の降水量がこの地点の平年の8月の月降水量の約2倍となる293.0 mmの大雨となった。

第2図は気象庁メソ数値予報モデル（MSM）による9日11時の975 hPa面の相当温位、風の分布である。東北地方の下層では日本海からの暖湿な南西風と太平洋側から流れ込む冷涼な南東風による収束が顕著で、等相当温位線が密集している領域は発達した積乱雲の発生域と対応していた。同日09時の秋田の高層観



第2図 9日11時の北日本付近におけるMSM（同日09時初期値）による975 hPa面の相当温位（2 K毎）、風（15 kt以上を表示、長い矢羽根が10 kt（1 kt=0.51 m/s）を示す）。

測によると、約600 hPaより下の高度の比較的厚い層で対流不安定となっており、持ち上げ凝結高度も約960 hPaと低く、対流雲が発達しやすい場となっていた。（気象庁予報部予報課 原 基）